



Grappleal

Sensing, Connected



CEO & Co-founder
ヴィンセント ボウチャット教授



ヨーロッパ
地域

2019
設立年

シリーズ A
ステージ

10
従業員数

課題 / 問題点

現場においては、化学物質の識別と濃度に関する正確なデータを提供するIOTセンサーが必要とされています。（環境、安全、ヘルスケア、食品サプライチェーン、獣医、ヘルスケアモニタリングなど）。既存の問題解決策は依然として高価格帯であり展開が難しく、その点Grapplealでは、プロセスモニタリングから人工診断まで、接続されたセンサーを提供することで、分析テストの未解決のニーズに対応します。

競争優位性：

- Grapplealは、弾力のある印刷技術を用いた電子機器によって処理できる、精選された感度の高いフィールドセンシング用の低コスト・低負荷が強みのセンシングプラットフォームを開発しています。この技術により、ガス、タンパク質、DNAなどの幅広い化学化合物を検出できます。
- 我々のこの技術は、弾力性を有する基板とフィルム上のグラフェンに基づいており、次世代の持続可能な費用対効果の高いナノエレクトロニクスフィルムを、センシング/電子機器アプリケーションに用いる事ができます。
- これらのフィルムはRFIDタグ（NFCおよびUHF）と組み合わせられ、スマートフォンセンサーで直接読み取り可能なパッシブRFIDタグセンサーのネットワークに基づくリモートセンシングプラットフォームを構築します。センサーとリーダープラットフォームは1,000円未満で製造され、高い競争力を誇ります。

希望する協業先/提携先：

- 学術界：高品質のグラフェンセンサーに高い関心を持つ研究グループ
- 企業：ガスおよび液体分析、水センサー、スキンケアおよび化粧品、獣医分野およびヘルスケアバイオセンサー（ウェアラブルを含む）を製造・使用する企業体

今後の事業計画：

- 製造ラインの構築
- 日本における中小及び大企業、学術界における販売およびパートナーネットワークの拡大

